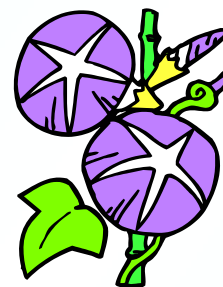


地域連携センター便り

上越総合病院 地域連携センター

〒943-8507 上越市大道福田148-1 TEL・FAX 025-524-3140(直通)

<http://renkei@joetsu-hp.jp> 17号 (2011.8)

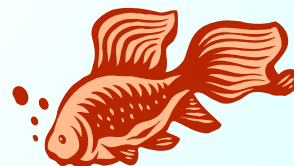


乳腺外科を開設しました



5月1日より、乳腺外科を開設いたしました。担当医師は当院の藤田 亘浩 乳腺外科部長です。これまで当院では乳腺腫瘍の受診は外科外来全般としての受付を行っており、ご紹介いただいた先生方や受診者様の方に、担当医師の外来日等、解りにくい点がありましたが、本号連携便りの外科診療担当表に診療日を明記いたしましたのでご覧ください。

医師交替のお知らせ



診療科		新任(7月1日)	退職(6月30日)
内科	医長	小原 竜軌(おはら たつき)	清水 崇
産婦人科	医員	山脇 芳(やまわき かおる)	本間 梨沙

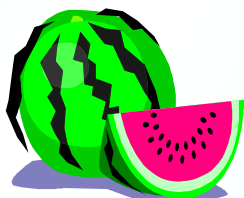
診療科		新任(8月1日)
循環器内科	部長	星野 和夫(ほしの かずお)

医療機関様からのご紹介のお問い合わせは


地域連携センター

電話番号025-524-3000(代表)

F A X 025-524-3140(直通)まで



新任医師のご紹介

 7月より赴任



内科医長 小原 竜軌(おはら たつき)



7月から新しく内科(専門領域は呼吸器)に赴任した小原 竜軌(おはら たつき)と申します。平成8年に新潟大学を卒業、県外を含め各地を異動しておりますが、この6月までは旧白根市の白根健生病院で勤務しておりました。出身は草加煎餅で御存知の方も居るか分かりませんが埼玉県草加市というところで、大学から新潟で生活するようになり、途中計2年程県外に異動したこともあります。人生の半分以上を新潟で過ごしたことになります。上越は10年程前に半年間妙高にいたことがあるので、何となく知った感があり慣れないながらも親近感を覚えています。診療は未だ不慣れな点もあり御面倒をお掛けすると思っておりますが宜しくお願い致します。



産婦人科医員 山脇 芳(やまわき かおる)



はじめまして。7月から産婦人科で勤務をさせていただいています、山脇 芳と申します。出身地は埼玉県、平成20年新潟大学卒業です。初期研修を長岡赤十字病院で行った後、新潟市民病院で産婦人科医として1年間勤務しました。大学時代はバドミントン部に所属して、バドミントンと飲み会に学生生活のほとんどもを費やしました。バドミントンは趣味で、中学生のころからずっと続けています。仕事の忙しさにかまけて最近ではできていませんでしたが、上越では時間とクラブチームを見つけてバドミントンをやりたいと思っています。医師としても人間としてもまだまだ未熟ではありますが、患者さんへの思いだけは誰にも負けないようにと常に心がけています。そして患者さんから多くを学ばせていただき、成長してゆきたいと思っています。皆様には色々とお世話になるかと思っておりますが、何卒よろしくお願い致します。



8月より赴任



循環器内科部長 星野 和夫(ほしの かずお)



8月1日から循環器内科に赴任いたしました。出身は上越市ですが高校卒業以後県外でしたので当地の状況は実家周辺しか分かりません。今回縁あって上越総合病院にお世話になることになりました。前任地では病診連携をすすめ、できるだけ外来患者は地域医師会の先生方をお願いし、病院では紹介患者、救急患者、入院、特殊外来と業務分担をすすめていました。上越地区での診療は初めてとなりますが地域の皆様のお役に立てるよう頑張る所存です。ご指導よろしくお願い申し上げます。

医療機関様からのご紹介のお問い合わせは
地域連携センター

電話番号025-524-3000(代表)

F A X 025-524-3140(直通)まで





当科における乳がんの治療について



上越総合病院 乳腺外科部長 藤田 亘浩

乳がんは年々増加の一途をたどっています。日本人女性の17人から20人に1人という確率で罹患するといわれていて、女性として乳がんはもはや他人ごとではない重要な疾患のひとつです。早期発見のためにはマンモグラフィ検診が有用ですが、実際に乳がんになってしまったらどのような治療が行われるのかについてお話します。乳がん治療の大事な柱は4つあり、局所の治療としての手術治療、放射線治療、そして全身治療としてのホルモン治療と化学療法剤による治療です。一方、乳がんの診断には画像診断や組織診断がありますが、治療方針を決定する因子として、乳がんの大きさ、リンパ節転移の有無、ホルモンレセプターの感受性、その他病理組織学検査で得られる様々な情報や多臓器転移の有無などがあり、当科では受診された時点から同時進行で素早く、かつ効率的に組み合わせるようになっています。そして治療方針は基本的にガイドラインにのっとり、患者様ご自身やご家族と相談の上決定されます。乳がんが転移を来たす臓器はリンパ節や皮膚もありますが、肝臓、肺、骨、脳が転移を来たす4大臓器と言われています。実際にほかの臓器に転移を高度に来たしている症例では化学療法などの集学的治療が優先されます。しかし一般にかなり大きな腫瘍で発見される乳がんでも、肝臓などの実質臓器に転移を来たしている症例はほとんどありません。従って、ほとんどの症例で手術が第一選択となりますが、乳がんになったからといって全例が乳房を失ってしまうというわけではありません。局所再発の可能性はありますが、術前の検査で温存可能の判定でかつ、ご本人が温存を希望されれば乳房温存手術が行われます。乳房温存治療を選択される患者様には術後の放射線治療（残存乳房照射：残ったお乳に放射線を当てるということ）をお勧めしています。残存乳房照射には一回の治療時間は短いものの、大体1か月程度要します。当科の温存手術を受ける患者さんの割合は大体70%位です。乳がんは腋窩リンパ節（腋の下のリンパ節）の転移の有無で術後の治療方針が変わってきます。転移があれば、術後に化学療法、いわゆる抗がん剤の治療をお勧めしています。化学療法による治療は多臓器への転移を予防するために行うもので術後約半年から1年の間続きますが、

医療機関様からのご紹介のお問い合わせは

地域連携センター

電話番号025-524-3000(代表)

F A X 025-524-3140(直通)まで





分子標的治療薬などの研究や開発も行われており、新しい治療薬、治療法もどんどん出てきており、治療の方法も今後変わっていく可能性もあります。早期がんであればリンパ節転移を起こす確率は低いので、実際には腋の下の手術の際にリンパ節転移の有無に関して、センチネル生検を行っています。センチネルとは見張り、側近という意味があり、乳がんからの転移が一番最初に起こるリンパ節と考えられています。従ってセンチネルリンパ節に転移がなければ他のリンパ節にも転移はないと判定できると考えられています。当科では乳がんの手術の際に同時に、センチネルリンパ節の生検を行っており、放射性同位元素を用いない、すなわち放射線の被ばくの心配の全くないやり方でセンチネルリンパ節を同定し、検査に出しています。ここで陽性という判定が出たら、腋窩郭清といって、患側の腋の下のリンパ節をごっそり取ってくることとなります。ホルモン治療はホルモンレセプターが陽性の患者様に対して行われる治療です。閉経前と閉経後で変わってきますが、いずれにせよ5年間の治療が必要です。ほとんどが朝一回のお薬の内服治療をしますが、閉経前であれば卵巣の機能を一時的に止める薬を注射しながら経過観察することになります。入院治療が終わったら、外来で定期的な血液や画像の検査で経過観察を行います。エビデンスに基づいた治療や、ガイドラインにのっとり治療はもちろん大切ですが、当院には、がん治療サポートチームがあり、外来受診時から入院・手術・外来での治療に至るまで、いろいろな悩みや相談を受けて、一緒に考え、支えてくれるスタッフがいますので、一人で悩まず遠慮なく相談してください。乳がんもやはり早期発見・早期治療が大切で、早く見つけて治療すれば怖い病気ではないということもわかっています。乳管内癌（DCIS）とはマンモグラフィーなどをきっかけに発見されるがんで、ほとんどが非触知性（触ってもしこりがわからない）のがんです。手術を受ければほぼ100%救命でき、リンパ節転移を含めて他臓器に転移を起こさないとされています。当科のDCISの割合は全体の症例の30%を占めています。ぜひともマンモグラフィー検診を受けていただき、少しでも早い段階で発見、そして治療できるように当科でもお手伝いさせていただきます。

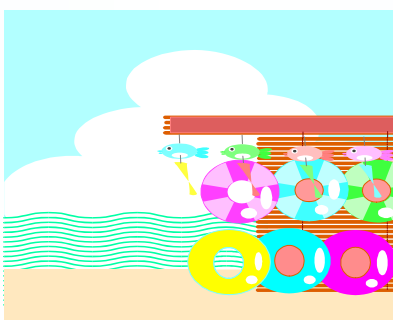


医療機関様からのご紹介のお問い合わせは

地域連携センター

電話番号025-524-3000(代表)

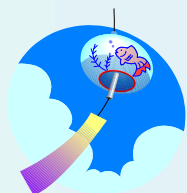
F A X 025-524-3140(直通)まで



上越総合病院 診療科 担当医師

平成23年8月1日現在

内科	呼吸器	外山讓二
	呼吸器	諸橋数昭
	呼吸器	小原竜軌
	呼吸器	岡島正明
	消化器	武井伸一
	消化器	小野知巳
	消化器	古川真一
	消化器	合志聡
	腎・糖尿病	亀田茂美
	腎・糖尿病	小川麻
循環器内科		籠島充夫
		星野和司
		吉江幸義
神経内科		福原信隆
		福鈴木
小児科		上村孝則
		土谷修一
		佐藤紘一
外科	乳腺外科	本間憲治
		藤田亘浩
		小出則彦
脳神経外科		宮澤智徳
		江塚勇明
		荒川泰大
産婦人科	不妊内分泌外来	杉原崇
		相田浩
		菅谷進
耳鼻咽喉科		廣井威
		山脇芳
		坪田雅仁
眼科		佐藤昭一
		藤田和也
整形外科		松本峰雄
皮膚科		土屋和夫
泌尿器科		里見定信
救急科		丸山正則
放射線治療科		江部和勇
病理検査科		巻淵隆夫
歯科口腔外科		桑原徹
歯科		服部心み



上越総合病院 外来診療担当表

TEL 025-524-3000

Table with columns for clinic (診療科), day (月/火/水/木/金/土), and doctor names. Includes various departments like Internal Medicine, Pediatrics, and Surgery.

※ 第2・第4土曜日は休診日 ※ 診療時間のくわしい内容等は、各科外来にお尋ね下さい。
《受付時間等について》 ※午後受付時間 11:45～各科受付終了時間(上記) なお、各外来では安全な診療を確保するため、やむを得ず受付数を制限する場合がございます。